

20191222

人の感情に働きかけ、行動変容させるロボット

近藤那央 (AM#####)

佐久間洋司 (AM000112)

コンセプト

現在

言葉によるアプローチ（看板や人の指示、法律）
を中心とした外的な働きかけ
静的かつ無機的な街

街が人間と相互作用するためのインタフェースとして、
人の感情を変化させるロボットを開発

無機的な街を、人に内的な動機付けをする有機的な街に拡張する未来の街の
コンセプトを制作し、インスタレーション作品を制作する

未来

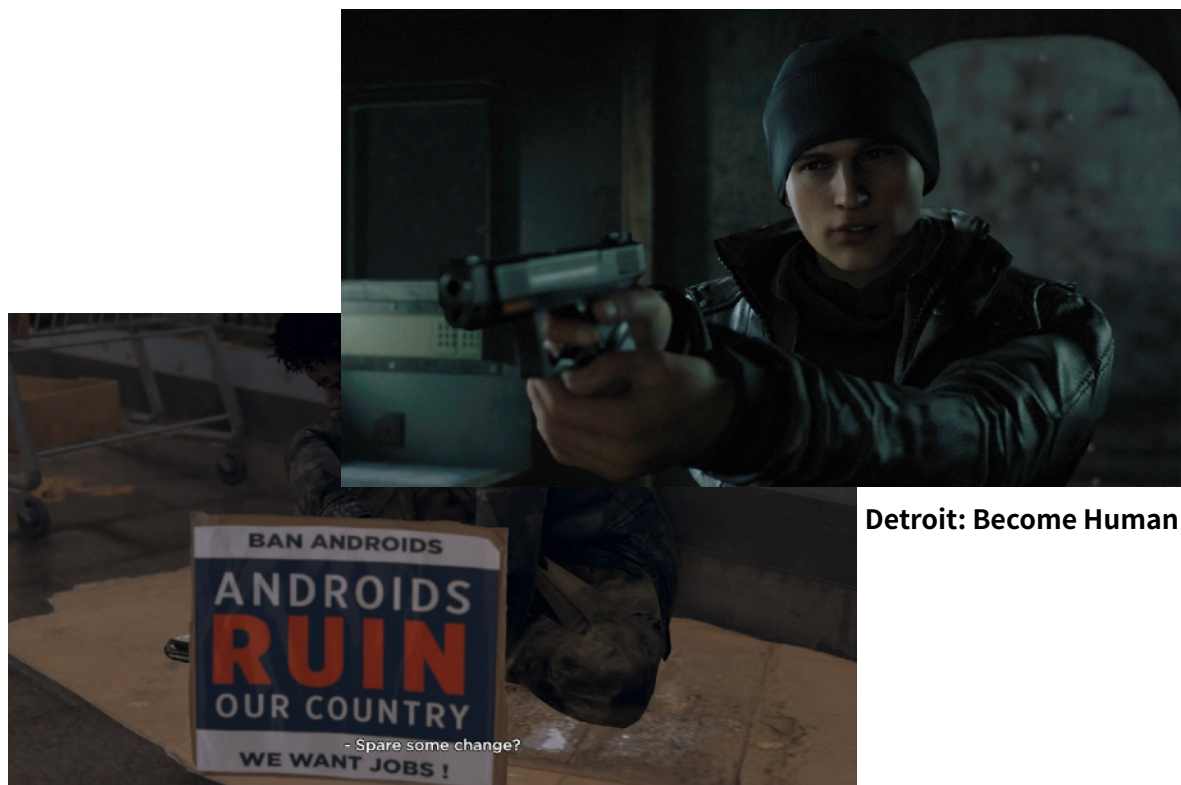
人や環境に応じて常に感応して働きかけ
自由と心地よさをもって行動できる
動的かつ有機的な街

有機的な街のロボット

今回開発する予定のロボットを街に放つことによって、
言語的なコミュニケーションなどによって働きかけるより
心地よく、自然に感情が変わる

法で裁いたり、拳銃持って脅したら
全員動くのは当たり前

今回のロボットで人の心の中の
内的な動機付けを誘発する



三つの研究

動物を超えて人と理解し合えるロボットづくりに取り組む近藤那央と、テクノロジーによって人の感情に働きかけることを目指す佐久間洋司のコラボレーション

ロボットが当たり前に受け入れられるための心地よさ・違和感のなさ

研究① 「揺らぎ」などのソフトウェア制御によって、より生き物らしさを感じさせる要素を明らかにする

ペットのように人間のために振る舞いすぎない野良らしさ

研究② 人に親しみを感じさせ、かつ適度に寄り付かないモデルを設計することで人間の気を惹き続ける

動物には備わっていない、人間のために街が生み出した機能

研究③ 色を変えるロボットが人間の感情に感応し、色でのフィードバックにより人の内的な動機付けを可能にする

活動スケジュール

(活動スケジュールや発表先、投稿先は申請後も随時検討)

- 1月～3月：** 試作用ロボット制作、実験計画の立案、
インスタレーションの企画など
- 4月～6月：** 実験用ロボットの制作、参加者実験の実施、
論文執筆および投稿など

研究費計画（予定）

1	消耗品費	試作用ロボット開発機材料費	2020	1	USD	2,000
2	消耗品費	実験用ロボット開発材料費	2020	3	USD	15,000
3	設備備品費	ロボット開発用実験器具1 直流安定化電源	2020	1	USD	900
4	消耗品費	メイカースペース利用費用	2020	1	USD	900
5	消耗品費	ロボット開発用CADソフトウェア購入費	2020	1	USD	995
6	消耗品費	論文ジャーナル会員費用	2020	1	USD	190
7	消耗品費	論文ジャーナル会員費用	2020	1	USD	100
8	消耗品費	書籍購入費	2020	1	USD	1,000

.....